

受付番号： 2017-1-420

課題名：難治性アトピー性皮膚炎の背景因子の検討

1. 研究の対象

2014年12月1日から2016年5月31日までの間に東北大学病院皮膚科外来を初診したアトピー性皮膚炎患者さんのうち、初診時に外用方法の指導と生活習慣および治療行動に関する問診票調査を実施し、6か月以上通院治療を継続した方あるいは治療開始6か月以内に症状が十分に改善したことを理由に他院に紹介された方

2. 研究目的・方法・研究期間

[研究目的]

アトピー性皮膚炎治療は、薬物療法、スキンケア、悪化因子の除去が基本です。東北大学病院皮膚科では、アトピー性皮膚炎患者さんに対し、適切な外用療法を行い、問診や血液検査で悪化因子を検索し、その除去を指導することを標準治療としています。今回、私たちの行ってきた標準治療の効果を検証するとともに、標準治療では症状が十分に改善しない難治性アトピー性皮膚炎患者さんの背景にある因子を調べます。

[研究方法]

対象となる患者さんの血液検査の結果を基に、治療開始後6か月以内に症状が十分に改善した患者さんの割合を調べ、治療効果を検証します。また、初診時の検査結果や生活習慣、当院での治療開始後に適切な外用治療ができていたかどうかについて、症状が十分に改善した患者さんと改善しなかった患者さんを比較し、改善しなかった患者さんの特徴を検討します。

[研究期間]

2016年12月～2017年12月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、罹病期間、血液検査結果、生活習慣と治療に関する問診票結果、アトピー性皮膚炎心身症尺度検査結果、状態-特性不安検査結果 等

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

5. 研究組織

本学単独研究

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

東北大学医学系研究科・皮膚科学分野 小澤麻紀

住所：〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1

電話：022-717-7271 ファックス：022-717-7361

メールアドレス：derma@med.tohoku.ac.jp

研究責任者：

東北大学医学系研究科・皮膚科学分野教授 相場節也

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開

室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合